

展 開	3. 高等学校の学科の特徴の把握	22	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で検索した情報を交換し合うことにより、自分で知り得なかった情報をさらにまたコンピュータで検索しようとする意欲を高める発展性を持たせる。 ○ 農業科、家庭科等については次の職業科全般にふれる授業で、さらに内容を補い、深めながらあつかう。 ○ 話し合った点で大事なポイントは教師側から強制的にコンピュータ画面に表示する。 ○ 発表された順で学科の特徴をおおまかにまとめていく。 ○ 項目ごとの調査検索可能であることが気づかない生徒には知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 情報を比較、分類し伝達させる。 (情報の創造と伝達能力の育成) △ 抽出生徒を活動させ、情報収集や処理の状況を把握し、次の生徒の活動に生かす。 (情報の解釈程度の評価) △ コンピュータから項目ごとに自分に必要な情報を自由に引き出させる。 (情報機器操作能力育成) ● コンピュータの操作がスムーズにでき、学科の大まかな特徴がわかったか。 						
	4. 今後、高等学校を選択する場合の注意事項	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路選択や計画にあたっては、情報を収集することの重要性や情報を受け止め幅広い視野を持つことの必要性にふれる。 ○ 内容の細かい点は3年で学習するのでかんたんに入れられる程度にする。 ○ これからの学級指導の予定を3年生の学習内容も含め、進路計画の大まかな予定を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 今後の方向づけに関する情報を提示し、中学校での進路の判断には情報は必要不可欠のものである。 (情報処理能力育成、情報化社会の認識) ● 今後の学習方向をつかみ、意欲の高まりが見られるか。 						
終 末	<p>① 高等学校を選ぶ場合、どんなことを考えなければならぬか、先生の話聞く。</p> <p>・情報</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">学科の特徴</td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">希望職業</td> <td rowspan="3" style="padding-left: 10px;">収集の必要性</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">本人の適性</td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">保護者の希望</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">費用面、その他</td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"></td> </tr> </table> <p>② これからの学習予定を聞く</p>	学科の特徴	希望職業	収集の必要性	本人の適性	保護者の希望	費用面、その他			
学科の特徴	希望職業	収集の必要性								
本人の適性	保護者の希望									
費用面、その他										

(2) 授業の展開

① コンピュータの活用及び操作

事前調査の結果から全体的にコンピュータの操作能力が低いと考えられたため、事前指導として授業前日に授業とは別のソフトを用いて、教育センターでパーソナルコンピュータの基本操作を約30分程度行った。はじめはやや緊張ぎみであったが、簡単なキー操作で様々な画面が出てきたり、画面の問題に対する生徒の答えが正解のときにはコンピュータが即座に反応するなど、コンピュータのはたらきがわかり始めるとだんだん笑顔が現れ、ペアを組む生徒同士が感想などを話し合うようになった。また、机間巡視をする教師に次々と質問をするようになり、教室内に非常に活気が出てきた。

教師が授業で用いるソフトについては、新鮮な感覚を与えるため、操作についてのみ説明し、内容については一切ふれないようにした。生徒は期待感に満ちあふれていた様子で「早くやってみたいなぁ」という声がそこそこにあがっていた。

② 課題把握

データベース 特別活動「学級指導……高等学校に関する情報」

1. C A Iの型	情報検索型
2. ソフトウェアの容量	760 K B
3. フレーム数(画面数)	227
4. 検索範囲と項目	
(1) 検索項目	ア 東北地区の県立高等学校 イ 東北地区の私立高等学校
(2) 検索項目	ア 所在地, 学科, 生徒数 イ 教育目標, 努力目標, ねらい等 ウ 学習内容, 選択コース等 エ 教科以外の諸活動 (生徒会, 部活動, クラブ等) オ 高等学校卒業後の進路 カ 該当中学校卒業生の入学人員 キ 通学方法 ク 入学試験の倍率, 募集定員 ケ 授業料, 経費, その他 コ 進路希望調査の結果
(3) 検索方法	ア 各高等学校ごとの校索 イ 項目ごとの検索 例 卒業後の進路など各高校どうしの比較ができる。
※ 生徒は番号(数値)を入力するだけで簡単に検索できる。	

図-9 データベース内容